





取扱説明書

富士UPS
UXシリーズのNAS 機器用
簡易UPS 管理ソフトウェア

PowerUX

警告表示について

本取扱説明書では安全上の注意点を、以下のマークとともに表示しています。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性、又は重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性があること、及び物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。
重要	この表示は使用する時に注意して頂きたいことを示しています。

使用許諾条項

本製品をご使用になる前に、下記の使用条件をよくお読み下さい。

ご使用になられた時点で、下記使用条件に同意して富士電機株式会社(以下富士電機といいます。)との間で契約が成立したものとさせていただきます。

1. 本製品およびその複製物に関する権利はその内容により富士電機または富士電機への提供者に帰属します。
2. 富士電機は、本製品のユーザ（以下ユーザといいます。）に対し、本製品に対応する富士電機製品を利用する目的で本製品を使用する非独占的権利を許諾します。
3. 富士電機および富士電機への提供者は、本製品がユーザの特定の目的のために適当であること、もしくはは有用であること、または本製品に瑕疵がないこと、その他製品に関していかなる保証もいたしません。
4. 富士電機および富士電機への提供者は、本製品の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負いません。
5. 本製品の使用による金銭上の損害、損失利益につきましては一切その責任を負いません。
6. 本製品の誤記等により生じた損害及び付随的損害については一切その責任を負いません。
7. ユーザは、日本国政府または該当国の政府より必要な許可等を得ることなしに、本製品の全部または一部を、直接または間接に輸出してはなりません。
8. 富士電機は、本製品について第三者からなされるいかなる権利主張に対しても一切その責任を負いません。
9. ユーザが、本契約に違反した場合には、本契約は直ちに終了するものとします。本契約の終了後は、ユーザは、本製品を使用してはいけません。
10. 富士電機は、改良のため、本製品の内容を予告なく変更することがあります。

お 願 い

- 本書の内容の一部または全部を転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。

目次

1.	PowerUX の特徴	4
1-1.	対応 OS	4
1-2.	PowerUX の機能	4
1-3.	PowerUX の動作	4
2.	PowerUX のインストール	5
3.	設定変更	11
3-1.	設定値の詳細説明	12
3-2.	OS シャットダウン開始までの時間について	14
4.	アンインストール手順	15
5.	その他の注意事項	17

1. PowerUX の特徴

1-1. 対応 OS

Windows Server 2012、SP1 以上
Windows Server 2012 R2 sp1 以上

対象UPS/対象機器
UX シリーズ

1-2. PowerUX の機能

1. 電源障害の発生時間による OS シャットダウン開始
2. 電源障害発生によるUPS停止までの時間設定
3. 電源障害発生によるUPS停止から電源障害発生時の自動起動の ON/OFF

1-3. PowerUX の動作

本ソフトは OS 標準のバッテリーオプション機能とタスクスケジューラを使用します。本ソフトウェアをインストールするとPowerUXの設定ツールと、OS シャットダウン用のスクリプト群のインストール。タスクスケジューラにUPSの監視用タスクが作成されます。

2. PowerUX のインストール

配布された PowerUX_v***JP¹.msi をエクスプローラ上でダブルクリックすると、インストールが開始されます。

[補足]

PowerUX の設定には管理者権限が必要になります。管理者権限を有するグループのユーザで実施して下さい。

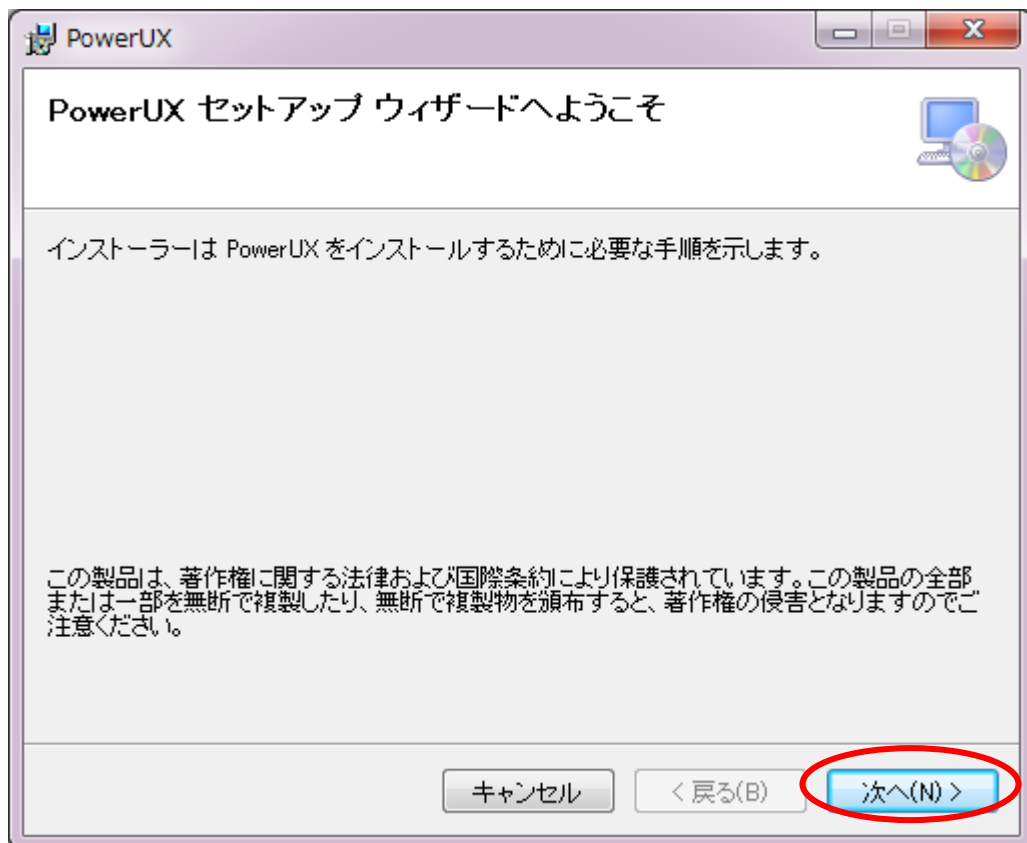


図 1 インストーラ オープニング画面

インストールを継続する場合は『次へ』をクリックして下さい。

¹ **にはバージョン名が入ります。

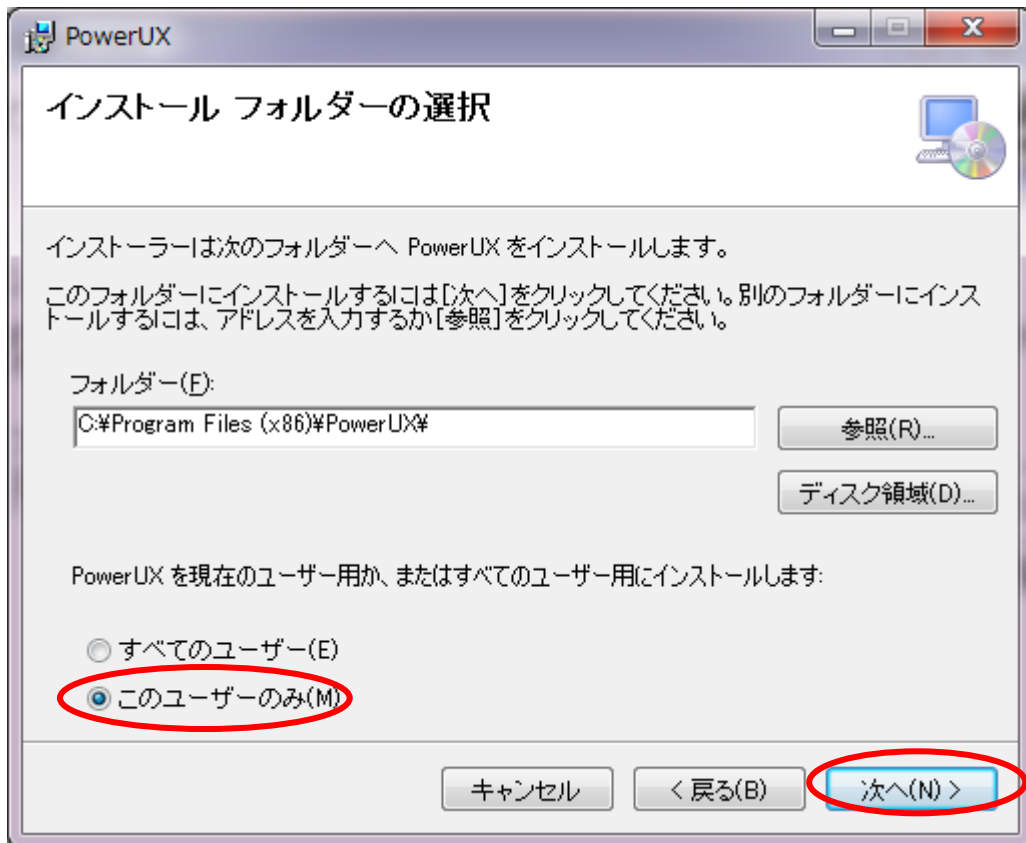


図 2 インストールフォルダの選択画面

PowerUX をインストールするフォルダを指定し、このユーザーのみを選択後に『次へ』をクリックして下さい。

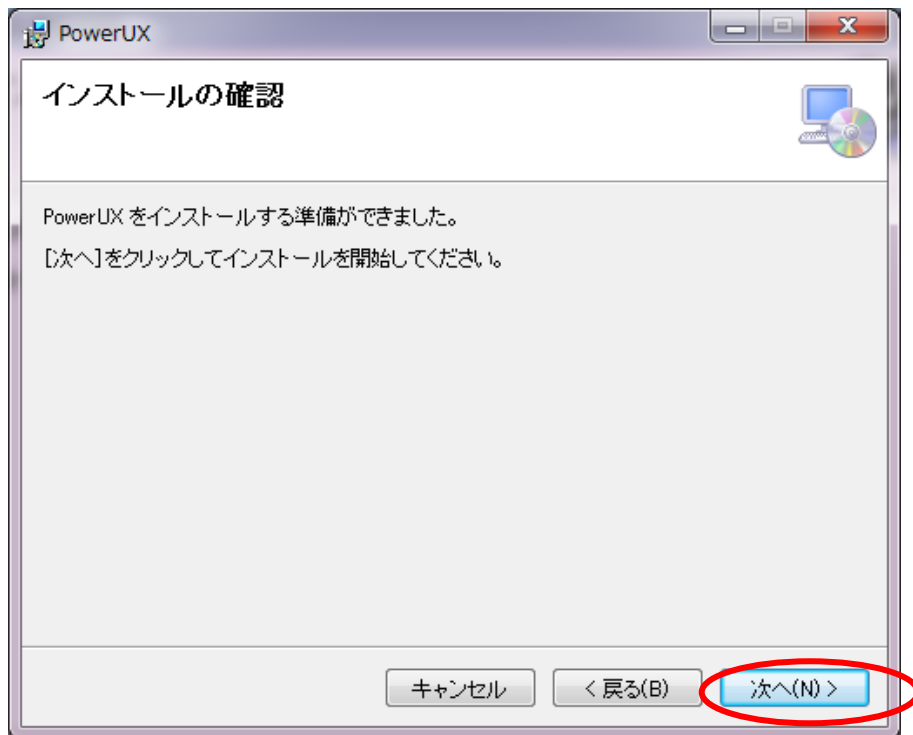


図 3 インストールの確認画面

PowerUX をインストールの準備が完了しましたので、『次へ』をクリックして下さい。

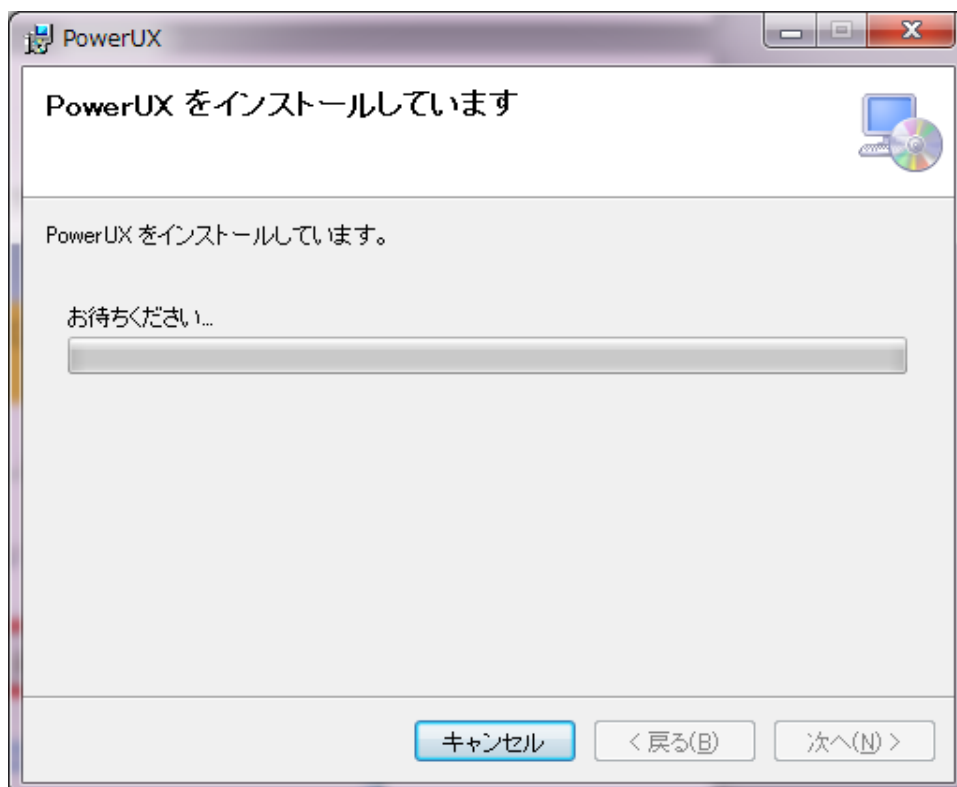


図 4 インストール中の画面

インストール中、UACが有効な場合、以下のポップアップが表示されます。

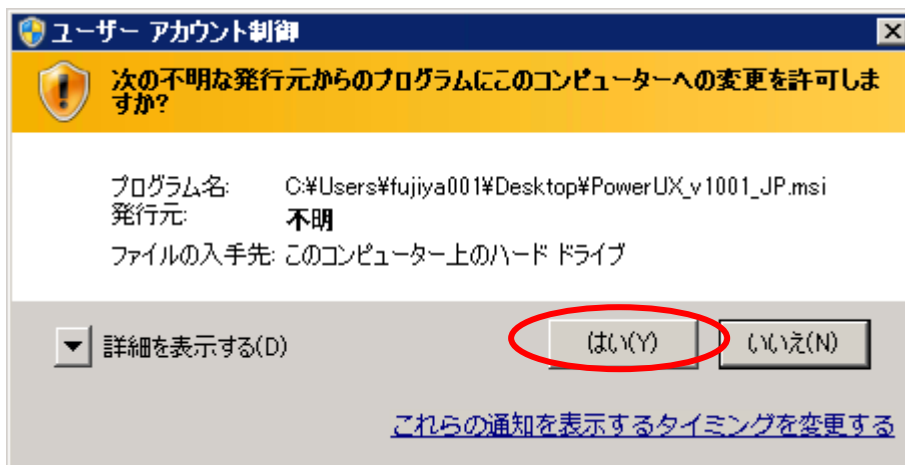


図 5 UAC のポップアップ 1

インストールを継続するためには『はい』をクリックして下さい。『いいえ』を選択した場合、インストール作業は中断され、インストールはキャンセルされます。インストールをおこなうためには再度、最初からインストール作業を行って下さい。

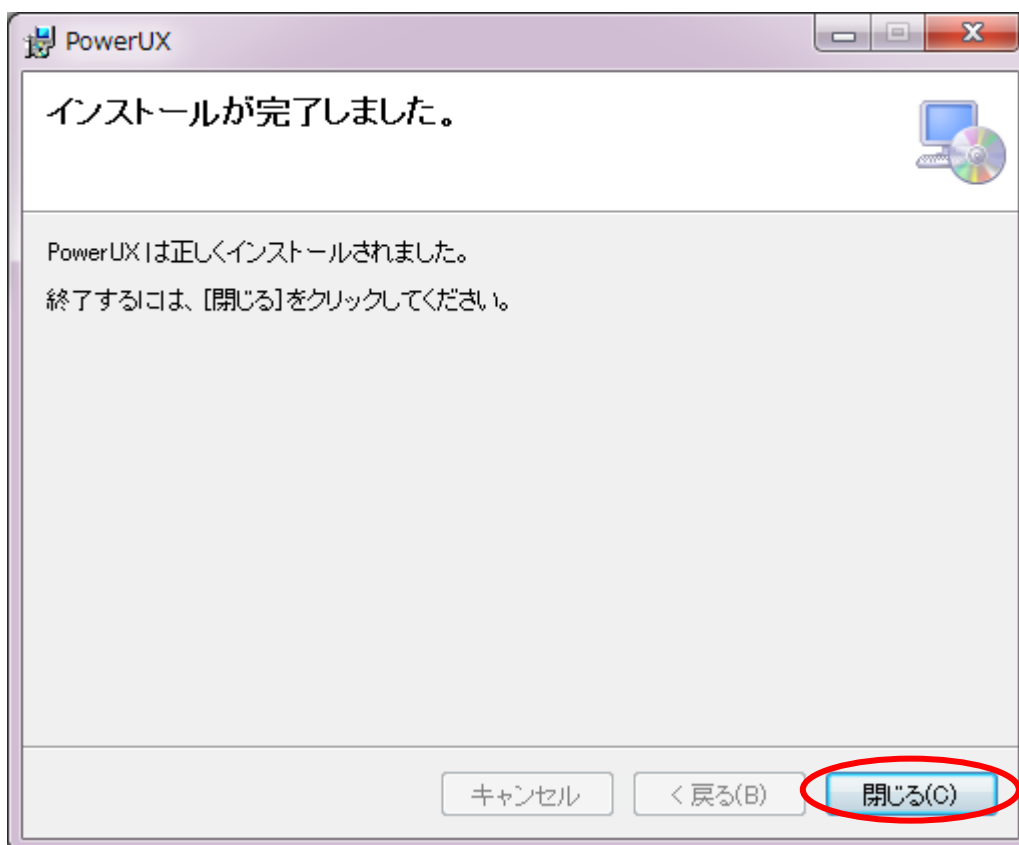


図 6 インストール完了画面

『閉じる』を選択してインストールを終了して下さい。自動で PowerUX の設定画面が起動します。

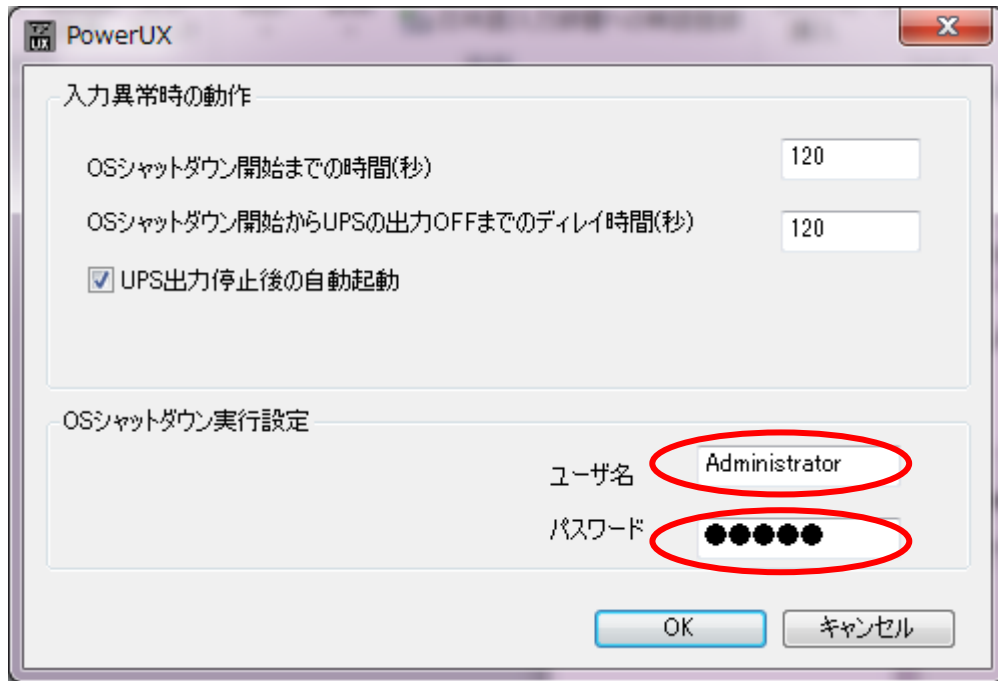


図 7 PowerUX 設定画面

OS シャットダウンが実行可能な管理者権限を有するユーザ名とパスワードを入力後、『OK』をクリックして下さい。正常に設定が完了すると以下のポップアップが表示されます。

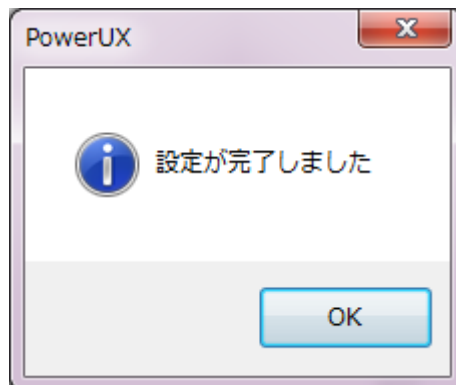


図 8 成功時のポップアップ

『OK』を選択して下さい。以上でインストールは完了です。

インストール時に使用したPowerUXの設定画面はプログラムメニューから起動可能です。詳細は次章を参照してください。

[補足]

ユーザ名、パスワードが異なる場合または管理者権限に問題がある場合は以下のポップアップが表示されます。

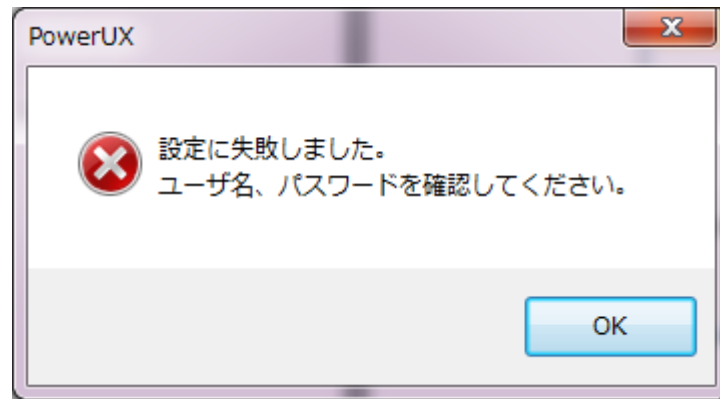


図 9 失敗時のポップアップ

[注意]

設定に失敗した場合、PowerUX は正常に動作しません。入力したユーザ名とパスワードが管理者権限を有するグループに属している事をサーバの管理者に確認してください。

3. 設定変更

PowerUX の設定はプログラムメニューに登録される、PowerUX によって設定の変更を行います。



図 10 アプリ選択画面

UACが有効な場合、以下のポップアップが表示されます。

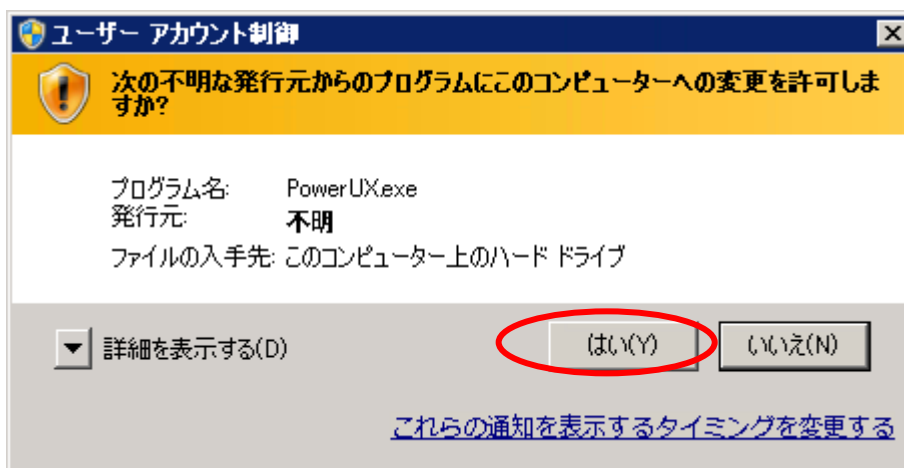


図 11 UAC のポップアップ 2

『はい』をクリックして下さい。『いいえ』をクリックした場合、PowerUX は起動しません。

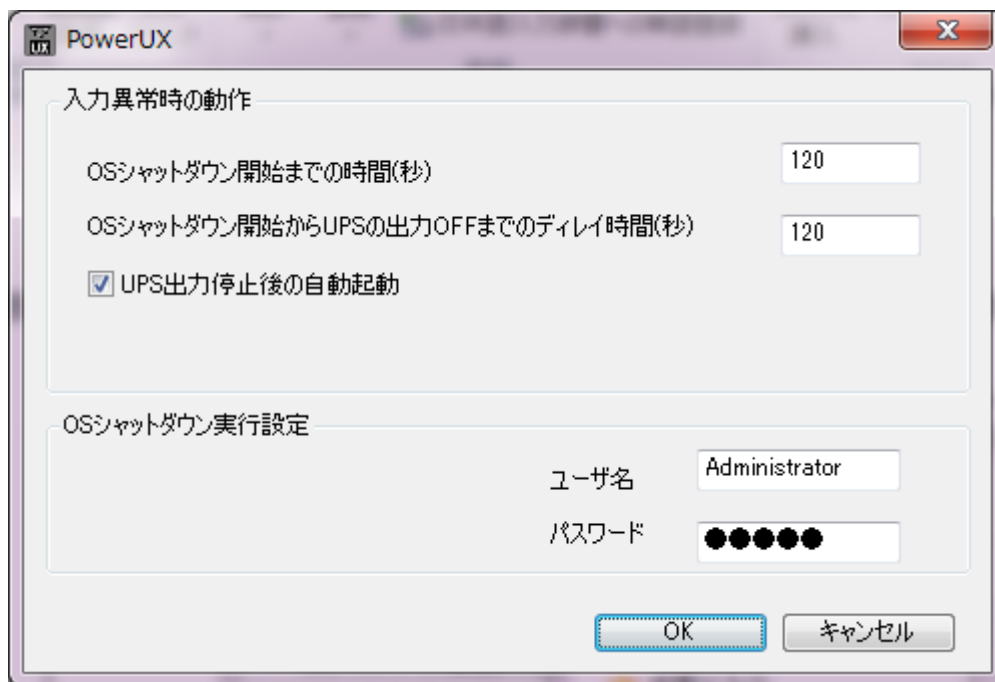


図 12 PowerUX の設定画面

3-1. 設定値の詳細説明

1) OS シャットダウン開始までの時間(秒)

設定値	OS シャットダウン開始までの時間	単位	秒
説明	入力異常（電源障害）発生が設定値を超過した場合に OS シャットダウンが開始されます		
初期値	120		
注意	10-5400 秒まで設定可能 本設定値は UPS の入力異常（電源障害）時の電源供給時間を保障する値ではありません。必ず UPS に接続している機器の電源容量を確認の上、UPS 出力 OFF までのディレイ時間を考慮して適切な時間を設定してください。		

2) OS シャットダウン開始から UPS 出力 OFF までのディレイ時間

設定値	OS シャットダウン開始から UPS 出力 OFF までのディレイ時間	単位	秒
説明	入力異常（電源障害）による OS シャットダウン開始から UPS の出力停止が停止されるまでのディレイ時間。OS シャットダウンに必要な時間以上を設定してください。		
初期値	120		
注意	10-999 秒まで設定可能 本設定値は UPS の入力異常（電源障害）時の電源供給時間を保障する値ではありません。必ず UPS に接続している機器の電源容量を確認の上、安全に OS シャットダウンが実行可能な時間を設定してください。		

3) UPS 出力停止後の自動起動

設定値	ON/OFF	単位	ON
説明	入力異常（電源障害）による UPS の出力停止後、入力異常復帰後の自動起動（出力 ON）の設定		
初期値	ON		
注意			

4) ユーザ名

設定値	ユーザ名	単位	
説明	OS シャットダウンを実施するユーザ名を設定		
初期値	Administrator		
注意	必ず管理者権限を有するユーザを指定して下さい。		

5) パスワード

設定値	パスワード	単位	
説明	OS シャットダウンを実施するユーザのパスワード		
初期値	admin		
注意	必ず管理者権限を有するユーザのパスワードを指定して下さい。		

3-2. OS シャットダウン開始までの時間について

通常、OS シャットダウン開始は”OS シャットダウン開始までの時間(秒)”で設定した時間で実行されます

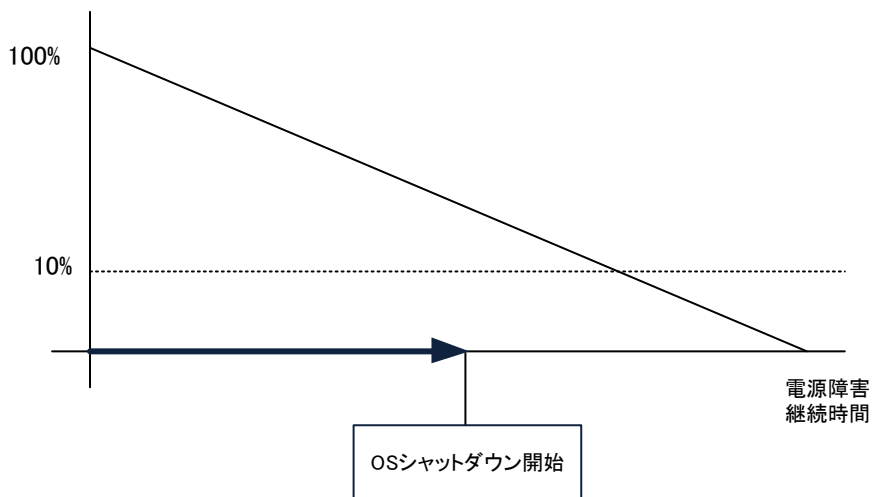


図 13 OS シャットダウン開始タイミング 1

ただし、UPS のバッテリー容量が 10%未満で”OS シャットダウン開始までの時間(秒)”で設定した時間より先に実行されます。

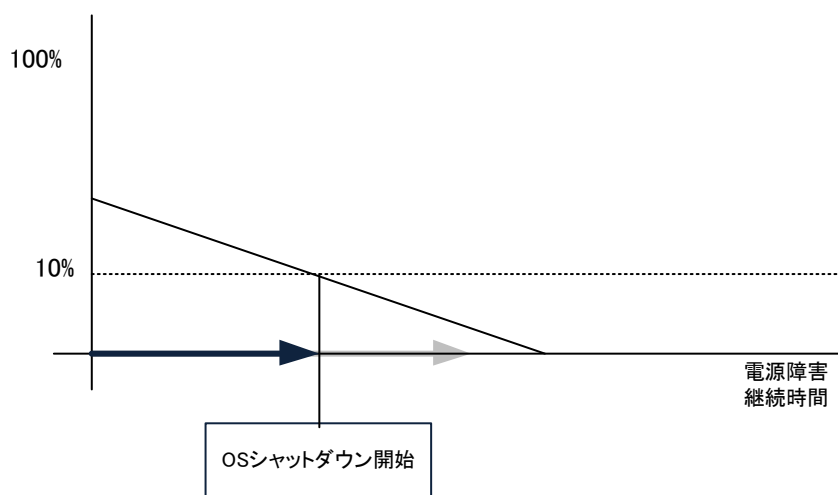


図 14 OS シャットダウン開始タイミング 2

4. アンインストール手順

アンインストールを行うには、“プログラムの追加と削除”から行います。

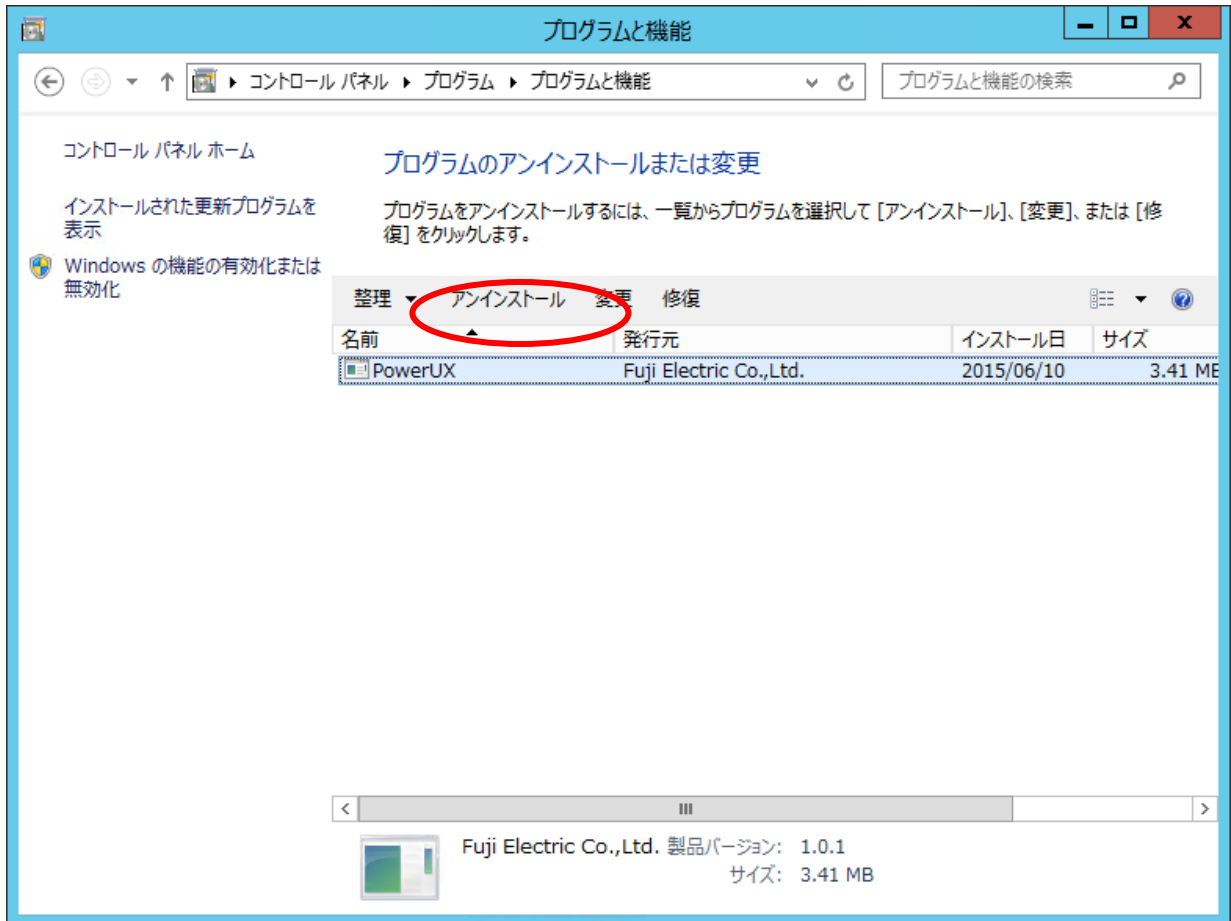


図 15プログラムの追加と削除

アンインストールの確認ポップアップが表示された場合は、『はい』をクリックしてください。

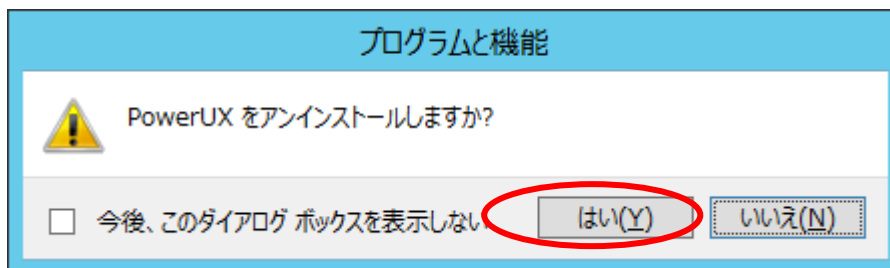


図 16 確認ポップアップ

アンインストールをクリックすると、アンインストールが開始されます。

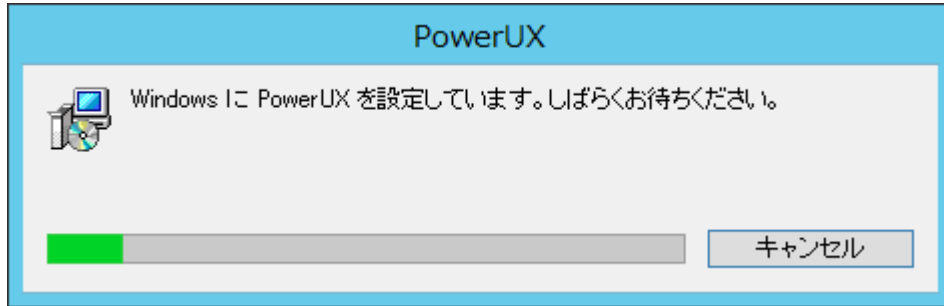


図 17 削除の開始

UACが有効な場合、以下のポップアップが表示されます。

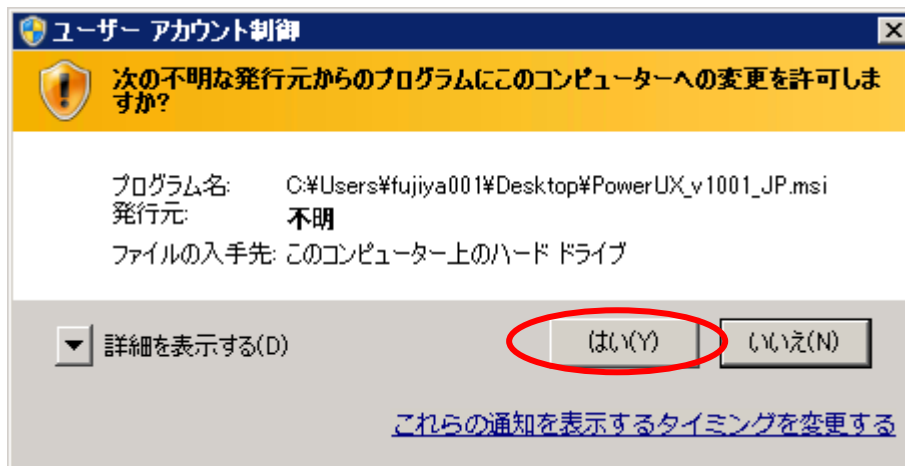


図 18 UAC のポップアップ 3

『はい』をクリックして下さい。『いいえ』をクリックした場合、アンインストールはキャンセルされます。アンインストールが完了すると、“プログラムの追加と削除”に戻ります。

以上でアンインストールが完了です。

5. その他の注意事項

本ソフトウェアをインストールすると、タスクスケジューラにタスク名『UPS』のタスクが登録されます。本タスクはOS 起動時に自動起動し、電源障害を検出すると OS シャットダウン開始までのカウントダウンを行います。また OS シャットダウン実行時にはUPS への出力停止コマンドを送信します。したがって本タスクを手動で変更または削除した場合、PowerUX は正常に動作せず、ダーティシャットダウンが発生する可能性があります。PowerUX の設定を変更する場合は必ずプログラムメニューから PowerUX を起動して設定の変更を行ってください。

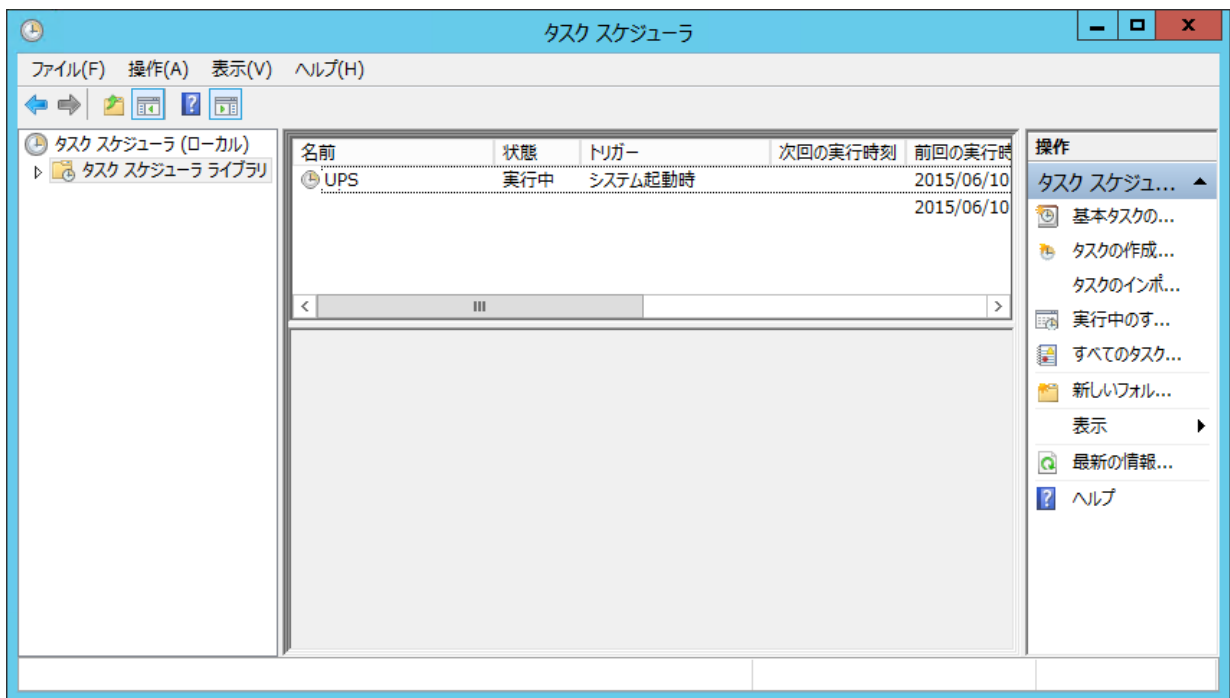


図 19 タスクスケジューラの画面

また本ソフトウェアをインストールすると、電源オプションのバッテリー項目である“低残量バッテリーのレベル”と“バッテリー切れのレベル”の設定値が0%になります。

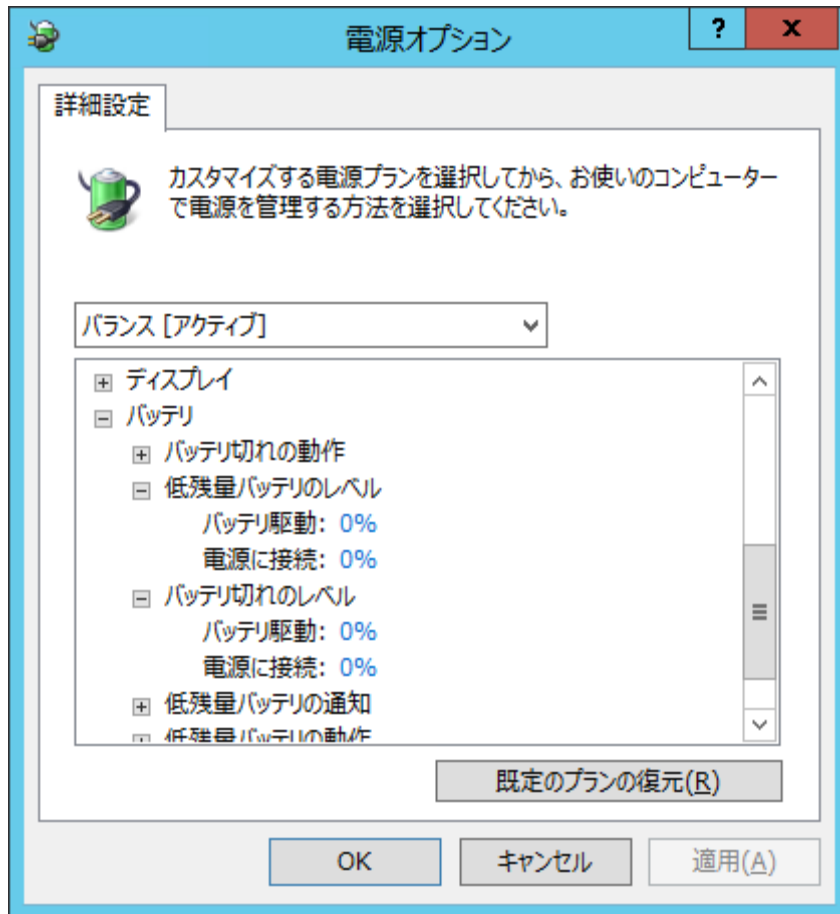


図 20 電源オプション画面

本設定の変更は、OS シャットダウンの実行時に UPS への出力制御を行うために必要となります。PowerUX にて自動で設定を変更していますので、手動で設定を変更すると電源障害時に UPS の出力停止が実行されない場合がありますのでご注意ください。